

ルネサンス Renaissance

発行：関野たかなり後援会

平成25年第1回 定例会一般質問

- P.1. 向原保育園増築工事について
P.1.2 市民協働について
P.3 粗大ごみ業務について/給食センター予定地と運動施設利用者への施策について
P.4 多摩湖の周遊道路の整備について

向原保育園増築工事について

市長 向原保育園増築工事は、12月議会で質問後の経緯と対応は建替えに係る補助金の事務の他、用地が市有地であり、特に近隣住民との友好な関係づくりに努めています。2月2日に向原保育園にて近隣住民の皆様と法人の打合せに担当職員を同席させました。

関野 今回は周辺の住民の方から連絡がきて、以前言ったが工事を、土・日や夜中に行われているとの苦情がありました。周辺の方が何をやっているのかと覗いていたら、「何見てんだ」と言われたと聞きました。工事業者や運営業者に対して疑問を持つ周辺の方が多過ぎますので、オープンするときは人が来たり、運動会等の行事があるとき等、周辺の方に事前にお知らせをしていただきたいと思うのがいかがですか。

回答 この社会福祉法人は向原保育園を含め6つの施設経営の社会福祉法人で地域交流の拠点として、子供を大切に地域づくりを目指すことあり、その理念に向かってもらいたいと思ってます。市でも、地域の社会福祉法人の経営実態を把握しつつ、適切な指導が実施できるように努めたいと考えてます。

関野 ずっと運営していく社会福祉法人なので、近隣の方と仲よくやっていただくように、行政側は見えていただき、朝と夕方はお迎えで大変な車の量になると思うが、社会福祉法人に貸し駐車場として利用をしていただきたいです。保育園の近くに小学校があり、通学路ではないが子供たちが通り危険です。駐車場の確保を要望します。

市長 市民協働は対象やその事業、あるいは参加、協力していただく市民の方々のグループ等、そのあり方により対応は同じだとは考えてないが、今後拡大してくるかと考えています。市の体制として、担当課だけが対応するのではなく、全ての課が対象で一緒になって考えて、職員には庁議等で自分の部課だけでなく、自分たちの仕事を他課がやっている事業と何か関係はないのか、手伝いできるかを絶えず考えていってほしいと要望をしているが、東大和市の中では、まだできていないのではないかと考えてます。現時点では手探りで、東大和市のやり方としてどうするかを模索しているのかと思います。

関野 現在手探り状態だということで、安心したがり「うまかんべえ」は市民協働に見えないという点から今回質問します。市長もお答えになった市と市民、市民と市民という部分で、やはり市民の方から

市民協働について

※詳細は東大和市ホームページ上の議事録を参照願います。

多摩湖周遊道路の整備について

市長 東京都北多摩北部建設事務所が管理する多摩湖周遊道路は、サイクリング、ジョギングや散歩する方々にも人気で、毎年道路を使用して多摩湖駅伝大会を実施しているが、コースの一部が狭いところがあり、大会運営の安全性を確保するため東京都に整備を要請したいと考えています。昭和53年4月16日に、健脚を競う日本初の女子フルマラソン大会が多摩湖で行われた歴史を後世に伝え、今後の市の地域振興の一助となることを期待して実施します。平成26年3月に実施する駅伝大会開会に先立ち、記念碑設置の式典に女子の強豪選手を招くことを計画し、平成25年度当初予算で開催地としての記念事業の予算を盛り込みました。

関野 情報コーナーができた時、初の女子マラソンがあると記事が残っており、お仕事中の総務部長を呼びお話をさせていただきすごくいい起爆剤になると思います、市長にお話して予算化になりました。発祥の地なので、ランニング、ウォーキングの人口が増えてくれば、広げられないとかやる気のない言葉を払拭できるものになるかと思っています。事業内容の方法、考えがあると思うが伺います。

回答 フルマラソン発祥の地との事で予算化の話は、今回新たな事業として記念碑を建て、有名な強豪な選手を呼んで起爆剤にしたいと思事業化したところ。石碑を見て「ここで昭和53年に行われた」と認識してもらえれば、今後の観光の施策にも寄与できると思います。職員とも色々考えながら他の部とも連携して、有効活用していきたいと思っています。

関野 メディアを使うのが一つかと思うが、宣伝や情報の提供は今まで行っていたのか、今後行おうのか、考えをお答えください。また、記者クラブがない場合、各テレビ局にメールを送り面白いと思うと、取り上げてくれます。面白みを感じてメディアが来てくれることもあるので、どんどん情報提供していただきたいと思うが、いかがでしょうか。

回答 駅伝については、これまでもマイテレビだけではなく、立川の記者クラブ加盟の報道にも情報提供はしています。今回のフルマラソン発祥の地の内容についても、プレス発表に合わせて記者クラブに情報提供しました。報道だけでなく、様々な所への話については、こちらもPRが足りないと思うので今後の課題として、情報が多く届くように努めたいです。

関野 情報提供時、本当に東大和市の社会教育部が書いたのかとびっくりするような、面白いキャッチでもいいと思います。テレビは国民が喜ぶ、楽しいものをニュースにします。相手方に立った気分で、取り上げてくれるものを考えた宣伝が必要だと思います。今マラソン等が流行っているのが人が集まる中で、今の道路では使いづらいので東京都と水道局に話を直接持って行ったり、最終的には道を広げることを考えた上で3~5年の短期間でここまでというイメージをしながら、来年の記念事業へ繋げて、職員の中だけではなく色々な形で情報を得て欲しいです。

回答 このフルマラソンを東大和市の売り、起爆剤にして先々多摩湖をランニングや散歩で東大和市に来る方が増える事が最大の目標で目指すところです。その中で、自転車道は東京都の管理で、機会を捉えて要請の話をしているが、駅伝をやる中で改善してもらうように調整をして東京都に今後、要請をしていきたいです。関野議員の言う今使っている道路の整備も選択肢かもしれないし、自転車道路か、一般の道路を使う方が効果的か、先に向け検討していくべきだと思います。知名度が低い事を悩む東大和市としては、日本で初の女子フルマラソン大会が行われた事実は、画期的だと思事業展開をしています。議員さんや市民の皆さんから、色々アドバイスをいただきながら、効果の大きい事業にしていきたいと思っています。

関野 女子フルマラソン初でも、集客に結びつかなければ意味が無いので目標を描いた上で、2~3年で計画を立てて東京都と交渉し実施をして、マラソン、ウォーキング、サイクリングの道路を拡張するところまでしていただければと思います。

東大和市議会議員 関野たかなりプロフィール



生年月日：昭和48年10月14日 38歳
衆議院議員のもとで、スタッフとして政策を学ぶ中、自分の生まれ育った東大和市の状況を知り愕然とする。生まれ故郷の東大和市行政の将来必要とする政策（民間的経営感覚・文化芸術・自然保存など）の無策の危機と街の将来像に不安を持ったことが市議会議員として立候補する事を決意し現在に至る。2011年の統一地方選挙で3期目に突入！
テマリ保育園けんげ保育園を経て都立北多摩高校卒業。商工会青年部・東大和青年会議所・東大和おどりフェスティバルなどで活動中
平成15年29歳・初当選/平成19年33歳・2期目当選/平成23年37歳・3期目当選
楽しい街〔東京・東大和〕創りを目標に日々奮闘中！！
好きな言葉は、意思のあるところに道あり。

@TakanariS 関野たかなり <http://sekino2.com/index.html>
TEL:042-567-4332 eFAX:020-4622-7039
(普通のファクスと同じように送ってください)
〒207-0032 東大和市蔵敷3-775 芝中住宅18-305

表ページより

の意見を重きに置き、イベントをやっていたらいいと思つてます。私が2期目の初めか、1期目の終わりにくらしいに、仙台市の市民協働提案事業について前市長のときに提案し検討するようになってから大分年数が経ったが、こういう提案事業、公開プレゼンテーションで市民から「こういうことをやりたい」と色々な意見を募り、その中で市が目標にしているものと一緒のところには補助金を出すという形でのプレゼン制度、事業提案制度は、今後考えられませんか。どうか。

回答 先ほど市長も答弁したが、市の職員の中で意識共有や向上が必要であると感じているところで、行政改革大綱の中でも、平成24、25年度で指針、ルールづくりに向い検討し、26年度に策定をしたいという状況なので、まずはルールを決めた後当局に合った市民協働のあり方を提案制度も検討していく運びになるかと思われまます。

関野 東大和市は先駆的にやるのが好きではない市かと、私はこの10年議員をやつていて思つています。後発的にやるのが好きな市なのかと思つているが、以前私が提案をしてから、今では多くの市が行つています。以前市長のタウンミーティングに出席したが、活動の場所を提供してほしいというお話もあつたが、その時は貸せないとの事でした。お金を提供するののも一つだが、そういう場所を貸す、市がその活動は良いというものであれば、場所を1年間週1回提供する等の枠組みでの市民提案制度というものをつくるべきだと思つてます。1回やつたら次も補助金を出すのではなく、年一回プレゼンをしてもらい、良いものをメインとしてやっていきたいものがあれば、その中から新しく事業として補助を出す試験期間等も使えると思つてます。

回答 行政と市民が協働して市政を実現していくの

粗大ごみ業務について

市長 委託に切りかえた粗大ごみ受付業務に係る市民からの意見や問題は、事務処理の変更で多少の違い合わせ等はあつたが、変更から2年目を迎え、安定した業務運営を認識しており、予算は平成24年度は月額78万4,544円の単価契約により実施している状況です。

関野 業務中、昼休みは入ってますか。

回答 基本的に朝8時半から17時15分まで、ローテーションで対応しています。

関野 お昼に電話を受けて頂き、何を捨てに行くかを確認してもらうことは可能でしょうかですが以前12時半〜1時に電話をしたところ、「済みません、私たちその場にはないので、1時半に来てください」と言われました。これは契約違反ではないでしょうか。

回答 業務は、お昼の時間も、対応可能な状態というところで委託をしています。

関野 8時半から17時15分まで、本来はその場所がないといけないと思うのですが、同じ業者にどんなん渡しているから言葉が悪いが、なめられていると思つています。これだけの値段であれば、衛生組合の3市で話をし、一つ小屋のような設備をつくり、内容を確認しごみを捨てる、その段階でお金を払つてもらふ形にしたほうが、予算的にも安上がりで利用しやすいのではと。年間800万円、3市だからといって3人いないといけないわけではなく、1〜2人常駐すれば削減ができると思つています。見直すことで、財源の確保にもなり、私は利用者の立場で言っていますが、そちらのほうが楽で、利用しやすいです。検討課題になるかと思つていますので、要望をしておきます。

に、今後あるものだけでなく、市も財源が限られる中で市民の協力、協働を得ないと良い町がつかれないと考へてます。今後は転換するべきと市長は思われているので、それに向かつて我々も施策を考へるべきと認識しているところです。

市長 既に沢山の補助団体があることは事実です。「市民自治を考へる」で昔の我孫子市長が始めた補助金を一度全てゼロベースにし、もう一度参加したい方全ての団体で改めてプレゼンを実施し、補助団体を選び3年後またゼロにする。と、私自身もその辺の話はよく聞いているが、市として必要なものもあり、今後検討をしたいと思つています。

関野 我孫子市長の件は今市長から初めて聞いたが、必要なものは出すのは私は必要だと思つています。市民協働と言うからには、市民の意見を取り入れた事業を行つてほしいが、考へ方を改めていただけますか。

回答 市民協働型、市民提案型は市民が考へていることに現場の行政が賛同すれば、協働してやつていくというものだと思います。市長も答弁したが、市民の提案型も後々取り入れたいと思うが、その前に市の協働のルール・指針をつくる事が先なので、並行して市民から提案したものを市が協働を逆にしていくのも、考へていききたいと思つて現在では関野議員の言うように、市が提案した事業等について、協働の団体、市民の方を募つてやるのが現状です。

関野 東大和市としての市民協働はどうなのかというのを、考へていただければと思つし、この市民協働事業提案制度についても、どうしたらこの提案制度が生きてくるのかというの、私が提案後から大分経ち後発になるので、他の市町村の制度を見てください。現状、去年からやつと市民協働という形で「う

まかんべえ」を初めて市が提案をし、市民の方が協力をしていただくのは、初めの走りなので良いと思つています。市が初めから形をつくり、それに参加・協力してくださいではモチベーションが違ふと思うのでもう少し市民にある程度任せるといふ形で目標を伝えて、自身は考へていただけると良いし、提案したものが課を超えた提案になってくると思つたが、市民からすればそれは関係ありません。いろんな課に波及していくが、そういうものを考へて今後やつていただきたいが、市長いかがでしょうか。

市長 「つまかんべえ祭」、あるいはスイーツウォーキングは、一過性のイベントだが、それを通して市内の商業の活性化を目指し、「つまかんべえ祭」は盛大に行われ、イベントとしては成功だったが、その後さらに市内の事業者が自分たちで工夫や努力し、成り立つよう行動を起こしてもらつたのが、今はそれが大切だと思います。今はその一歩が踏み出されたが、それぞれの事業者の方々が、色々工夫して、観光の意味で始めたところもあるので、所管は一生懸命だが、それ以外の部署については、また少し考へていただければという思いとPRの仕方等がいまいちかと思つてます。

関野 実際市長が言われたとおりだと思つています。まず足を運んでいただくところに関して市が協力しその後、自分たちでやらなければならないことだと思つていますので、その点はしっかり言つたほうがいいかと思つています。PRや宣伝の仕方は、職員・役所の方は宣伝を一番に考へてやつていらっしゃる方々ではないので、宣伝をメインに置いている企業さんやうまく利用して、宣伝してもらつたのも一つかと思つています。協働事業提案制度については、検討するといふ答弁をいただいておりますので要望をしておきます。

※詳細は東大和市ホームページ上の議事録を参照願います。

給食センター予定地と運動施設利用者への施策について

市長 市長への手紙等で学校給食に関する御意見等も寄せられ、そのうち1件は、桜が丘市民広場を削つてまで給食センターを建設する必要があるのかというものです。利用者への施策は建設に伴い、桜が丘市民広場の東側、B面の使用ができなくなり、施設を利用されている皆様に御不便をおかけすることとなります。市内に限られた運動施設の現状から、その不自由を補う目的で桜が丘の警視庁、立川市の自治大学の各グラウンドを借りた経緯もあり、警視庁グラウンドは調整で、日程が合えば使用可との事なので条件や手続方法を調整し、情報についても引き続き市内団体への周知を図りたいと考へてます。

関野 市長への手紙等で桜が丘市民広場を削つてまで給食センターをつくる必要があるのかというところですが、市民の方が思う意見が素直に届いているが、今後は利用者が今まで使つてた部分を削つて給食センターをつくってしまったので、市としては対応をしてあげないといけないかと思つているのか、どうでしょうか。

回答 現在使えるものが狭くなり、御不便になるのは、大変心苦しい部分ですが、給食センターは最終的には子供たちのためならばと賛成ではないが、御理解をいただけたと考へてます。今後お話があれば真摯に対応したい姿勢です。

関野 隣の武蔵村山市から比べると、全く少ない状況なので、利用者への施策として聞いています。警視庁グラウンドでという話ですが、警視庁側で受付等をするより、市が間に入り受付をしたほうが市民の方もやりやすいので、形をつくつていただき、利用実績を上げていただきたいです。

回答 桜が丘市民広場の一部のグラウンドが縮小に伴う施策だが、現状では貸していただける場所を増やし、照会をしながら利用の拡大、拡充につなげたいと思つています。その中で、警視庁との調整では、市が窓口になった形で貸しますと話の中ではいただいております、有料だが使つてくださるとのことです。警視庁グラウンドの隣の場所、参議院の場所はまだ借りられる場所とは位置づけてないが、段階で関係部署とも調整をしてルールづくりを利用団体のほうに使える情報として流していくと考へてます。

関野 早急にやつていただければと思つています。

回答 市長への手紙等々で御意見いただく機会はあるが、それ以外にも各種スポーツの大会等でお会いする機会があれば、こちらから積極的にコミュニケーションをとるようになっています。今後いろいろな機会、市長や社会教育と連携をとりながら、誠意をもって対応していきたいと考へています。